

ツインアクセル（ブラジル国債＆オーストラリア小型株式） 《2021-01》

運用報告書（全体版） 第6期

（決算日 2020年9月28日）

（作成対象期間 2019年9月27日～2020年9月28日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	約6年5カ月間（2014年8月19日～2021年1月27日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ、ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》の受益証券 ロ、ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドの受益証券 ハ、ブラジル・リアル建てのブラジル国債
	ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》	ブラジル・リアル建てのブラジル国債
	ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド	オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）
組入制限	ベビーファンドの株式組入上限比率	無制限
	ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》の株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
	ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ブラジル国債およびオーストラリアの小型株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近 5 期の運用実績

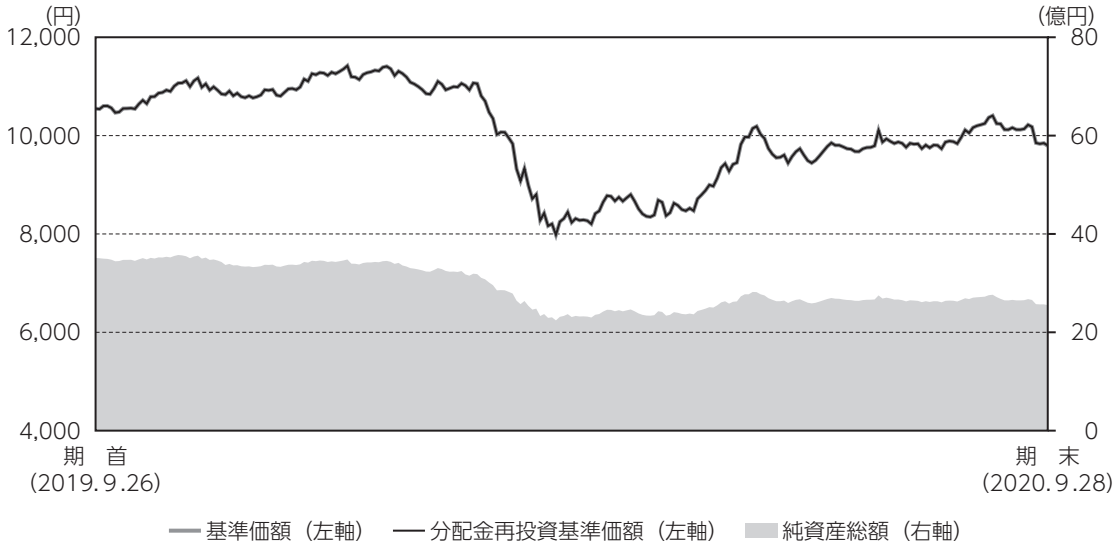
決 算 期	基 準 価 額			S & P / A S X 200指数 (円 換 算)		ブラジル・リアル 為 替 レ ー ト		株 式 組入比率	公 社 債 組入比率	投資信託 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率				
	円	円	%		%	円	%	%	%	%	百万円
2 期末 (2016年9月26日)	9,256	10	21.8	7,802	△ 2.2	31.07	2.6	37.4	51.7	5.6	13,470
3 期末 (2017年9月26日)	11,600	10	25.4	9,393	20.4	35.31	13.6	34.8	55.4	5.0	7,682
4 期末 (2018年9月26日)	10,542	10	△ 9.0	9,476	0.9	27.71	△21.5	40.3	49.8	4.3	4,808
5 期末 (2019年9月26日)	10,548	10	0.2	9,119	△ 3.8	25.97	△ 6.3	37.8	52.2	5.8	3,512
6 期末 (2020年9月28日)	9,790	10	△ 7.1	8,276	△ 9.2	18.94	△27.1	46.9	42.7	5.7	2,553

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を 10,000 として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLC が有しています。S&P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
- (注 5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 6) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期 首：10,548円

期 末：9,790円（分配金10円）

騰落率：△7.1%（分配金込み）

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》	△22.9%	44.1%
ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド	15.3%	55.9%

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、ブラジル・リアルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因になり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ツインアクセル（ブラジル国債&オーストラリア小型株式） <<2021－01>>

年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (円 換 算)		ブラジル・リアル 為 替 レ ー ト		株 式 組 入 率 比	公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 証 入 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2019年 9 月26日	円 10,548	% －	9,119	% －	円 25.97	% －	% 37.8	% 52.2	% 5.8
9 月末	10,602	0.5	9,151	0.3	25.95	△ 0.1	38.4	51.4	5.9
10月末	11,116	5.4	9,414	3.2	27.27	5.0	38.4	52.3	5.9
11月末	10,931	3.6	9,514	4.3	26.00	0.1	39.4	50.3	6.1
12月末	11,420	8.3	9,759	7.0	27.04	4.1	39.2	49.7	6.0
2020年 1 月末	10,936	3.7	9,603	5.3	25.66	△ 1.2	39.4	50.1	6.0
2 月末	10,347	△ 1.9	8,954	△ 1.8	24.36	△ 6.2	40.2	51.2	5.8
3 月末	8,313	△21.2	6,402	△29.8	20.92	△19.4	34.5	53.6	5.8
4 月末	8,687	△17.6	7,042	△22.8	20.01	△22.9	39.4	49.4	5.9
5 月末	9,276	△12.1	7,805	△14.4	19.87	△23.5	42.4	45.9	6.2
6 月末	9,498	△10.0	8,032	△11.9	19.93	△23.3	44.0	45.2	6.5
7 月末	9,870	△ 6.4	8,526	△ 6.5	20.28	△21.9	44.6	44.3	6.6
8 月末	10,199	△ 3.3	8,800	△ 3.5	19.55	△24.7	47.9	41.8	6.9
(期末)2020年 9 月28日	9,800	△ 7.1	8,276	△ 9.2	18.94	△27.1	46.9	42.7	5.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.9.27~2020.9.28)

■ブラジル債券市況

ブラジル国債の金利は、短期ゾーンで低下（債券価格は上昇）し、長期ゾーンで上昇しました。

ブラジル債券市況は、2019年10月は、年金改革法案がブラジル上院議会で可決されたことやブラジル中央銀行による利下げを背景に、金利は低下しました。11月は、チリやボリビアで発生した反政府デモでラテンアメリカ市場全体への警戒感が高まったことを受け、金利は上昇しました。12月から2020年1月にかけては、政策金利が過去最低水準へ引き下げられたことやゲデス経済相の低金利容認姿勢から、金利は低下しました。しかし、2月からは新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され、3月は信用不安の広がりから新興国債券全般が売られる展開となり、金利は上昇しました。その後、各国政策当局が大規模な財政・金融政策を発表したことで、市場の混乱は一定の落ち着きを見せ、4月以降も、ブラジル中央銀行による追加利下げの実施や国債の買い入れを含む量的緩和策の導入への期待が、金利の下押し圧力となりました。一方、相次ぐ景気対策により財政悪化が意識され、8月以降は金利が上昇しました。また、食品価格の上昇に伴うインフレ圧力懸念も、金利の上昇圧力となりました。

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は下落しました。

オーストラリア株式市況は、米中通商協議の進展などから、当作成期首から2020年2月中旬にかけて緩やかに上昇しました。その後は、新型コロナウイルスの感染が中国本土以外で急拡大する中、世界経済への悪影響が懸念され、3月中旬にかけて大きく下落しました。当作成期末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大による市場の混乱を抑えるため各国の中央銀行が大規模な流動性対策の強化などを打ち出したこと、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待や都市封鎖の緩和から経済活動再開への期待が高まったことなどから、上昇基調で推移しました。

■為替相場

ブラジル・リアルは対円で下落しました。

ブラジル・リアル対円為替相場は、当作成期首から2020年1月にかけておおむねボックス圏で推移しました。しかし2月以降は、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され、大幅に下落しました。その後も、ブラジルの新型コロナウイルス感染者数は高水準が続き、5月中旬まで下落しました。当作成期末にかけては、ブラジル中央銀行による国債の買い入れを含む量的緩和策の導入が可能となったことが好感されて上昇したものの、その後は相次ぐ景気対策により財政悪化が意識され下落しました。

オーストラリア・ドルは対円で上昇（円安）しました。

オーストラリア・ドル対円為替相場は、当作成期首から2020年2月中旬にかけておおむねボックス圏で推移しました。その後は、新型コロナウイルスへの懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まり、3月中旬にかけて大きく下落しました。当作成期末にかけては、各国の中央銀行による支援策や経済活動再開への期待が高まったこと、鉄鉱石の価格が堅調に推移したことなどを受けて、上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド＜2021－01＞」の受益証券と「ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド」の受益証券の合計の組入比率を信託財産の純資産総額の100％に近づける方針です。

■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド＜2021－01＞

引き続き、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10％、2021年1月償還）の保有を継続します。

■ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

オーストラリアの小型株式等に投資を行い、信託財産の成長をめざして運用を行います。

オーストラリア小型株式市場については、R B A（オーストラリア準備銀行）の金融緩和策や政府の減税策などが引き続き支援材料になるとみています。一方で、長引く米中貿易摩擦などの地政学リスクについては注視する必要があります。

引き続き、強固なバランスシートを有し、中長期的に持続可能な収益成長が期待できる企業を重点的に組み入れていく方針です。企業のファンダメンタルズが悪化していない限り、市場の値動きの大きな局面を捉え、これまで綿密に調査してきた銘柄の新規組み入れや保有銘柄の買い増し、ファンダメンタルズのリスク・リターン特性がより優れた銘柄へのシフトなどを行っていく考えです。

外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

ポートフォリオについて

(2019.9.27~2020.9.28)

■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》」の受益証券と「ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド」の受益証券の合計の組入比率を信託財産の純資産総額の100%に近づけて運用しました。

■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》

償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）を保有しました。

■ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

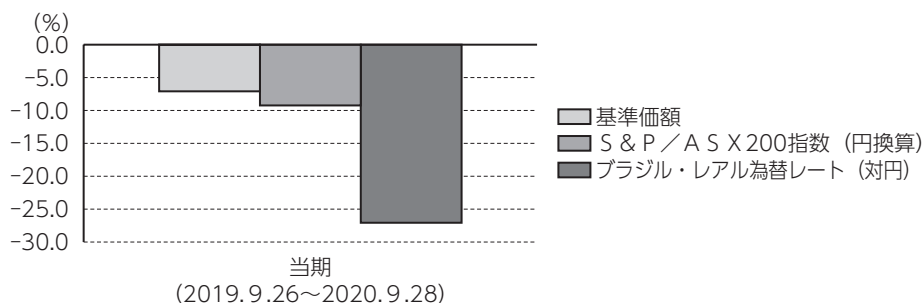
当作成期中の投資行動としては、Eコマース（電子商取引）への構造的シフトから恩恵を受けることが期待されるオンライン関連銘柄などを新規に組み入れた一方で、業績の減速が懸念される空港関連銘柄の一部売却などを行いました。

当作成期は、呼吸器系疾患向けの医療機器の開発・製造を行うFISHER & PAYKEL HEALTHCARE（ヘルスケア）、優位な市場シェアや明確な成長戦略などを評価しているBAPCOR（一般消費財・サービス）などを高位の組み入れとしました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年9月27日 ～2020年9月28日	
当期分配金（税込み）	(円)	10
対基準価額比率	(%)	0.10
当期の収益	(円)	10
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	3,071

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	340.65円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		4.69
(d) 分配準備積立金		2,735.83
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		3,081.19
(f) 分配金		10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		3,071.19

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》」の受益証券と「ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド」の受益証券の合計の組入比率を信託財産の純資産総額の100%に近づける方針です。

■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》

引き続き、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）の保有を継続します。

■ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

オーストラリアの小型株式等に投資を行い、信託財産の成長をめざして運用を行います。

オーストラリアでは、政府による新型コロナウイルス感染拡大の封じ込め策が経済活動を大きく制約し、景気後退が懸念されます。政府による刺激策は部分的には寄与し得るものの、将来的な景気低迷を抑止するには至らないとみています。各企業はバランスシートの建て直しや支出を先送りするなどしています。こうした中、株式市場やポートフォリオの組入銘柄については長期的には楽観視しているものの、経済回復ペースをめぐる不透明感や最近の市場の上昇に鑑み、当面の市場見通しは慎重なものとしています。

引き続き、強固なバランスシートを有し、中長期的に持続可能な収益成長が期待できる企業を重点的に組み入れていく方針です。企業のファンダメンタルズが悪化していない限り、足元の市場の値動きの激しい局面を捉え、これまで綿密に調査してきた銘柄の新規組み入れや保有銘柄の買い増し、ファンダメンタルズのリスク・リターン特性がより優れた銘柄へのシフトなどを行っていく考えです。

外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2019.9.27～2020.9.28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	185円	1.847%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,044円です。
(投 信 会 社)	(91)	(0.907)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(89)	(0.885)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0.020	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.017)	
(投資信託証券)	(0)	(0.003)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	15	0.152	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(14)	(0.142)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	203	2.019	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

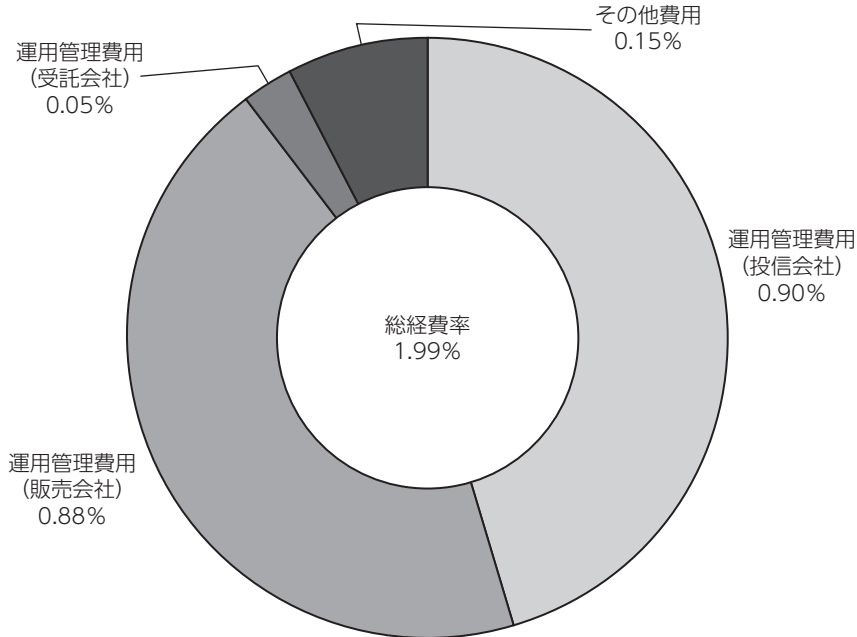
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.99%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年9月27日から2020年9月28日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ・ブラジル国債 マザーファンド<<2021－01>>	－	－	362,825	415,400
ダイワ・オーストラリア 小型株式マザーファンド	－	－	277,330	391,700

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年9月27日から2020年9月28日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,197,128千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,197,117千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	1.00

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2021－01>>	1,575,251	1,212,425	1,124,888
ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド	1,203,799	926,468	1,426,206

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年9月28日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2021－01>>	1,124,888	43.5
ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド	1,426,206	55.2
コール・ローン等、その他	31,899	1.3
投資信託財産総額	2,582,994	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月28日における邦貨換算レートは、1 オーストラリア・ドル＝74.22円、1 ニュージーランド・ドル＝69.00円、1 ブラジル・レアル＝18.94円です。

(注3) ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2021－01>>において、当期末における外貨建純資産（1,698,450千円）の投資信託財産総額（1,706,991千円）に対する比率は、99.5%です。
ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,424,750千円）の投資信託財産総額（1,429,188千円）に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年9月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,582,994,387円
コール・ローン等	28,899,969
ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2021－01>>(評価額)	1,124,888,326
ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド(評価額)	1,426,206,092
未収入金	3,000,000
(B) 負債	29,708,352
未払収益分配金	2,608,156
未払解約金	2,949,900
未払信託報酬	24,042,246
その他未払費用	108,050
(C) 純資産総額(A－B)	2,553,286,035
元本	2,608,156,452
次期繰越損益金	△ 54,870,417
(D) 受益権総口数	2,608,156,452口
1万口当り基準価額(C／D)	9,790円

*期首における元本額は3,330,070,809円、当作成成期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は721,914,357円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は9,790円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は54,870,417円です。

■損益の状況

当期 自2019年9月27日 至2020年9月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 8,897円
受取利息	1,070
支払利息	△ 9,967
(B) 有価証券売買損益	△141,096,966
売買益	240,206,405
売買損	△381,303,371
(C) 信託報酬等	△ 54,208,108
(D) 当期損益金(A + B + C)	△195,313,971
(E) 前期繰越損益金	139,072,602
(F) 追加信託差損益金	3,979,108
(配当等相当額)	(1,225,594)
(売買損益相当額)	(2,753,514)
(G) 合計(D + E + F)	△ 52,262,261
(H) 収益分配金	△ 2,608,156
次期繰越損益金(G + H)	△ 54,870,417
追加信託差損益金	3,979,108
(配当等相当額)	(1,225,594)
(売買損益相当額)	(2,753,514)
分配準備積立金	799,789,587
繰越損益金	△858,639,112

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：11,480,544円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	88,848,118円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,225,594
(d) 分配準備積立金	713,549,625
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	803,623,337
(f) 分配金	2,608,156
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	801,015,181
(h) 受益権総口数	2,608,156,452口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2021-01>>

運用報告書 第7期（決算日 2020年9月28日）

（作成対象期間 2019年9月27日～2020年9月28日）

ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2021-01>>の運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

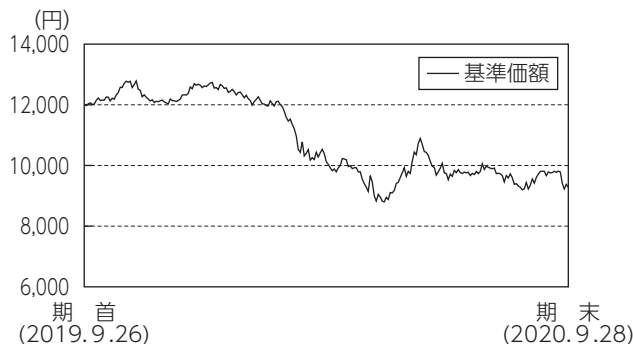
運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	ブラジル・レアル建てのブラジル国債
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		ブラジル・レアル為替レート		公 社 債 組 入 比 率	
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率
(期首)2019年 9 月26日	12,028	円	25.97	円	96.7	%
9 月 末	12,031	0.0	25.95	△ 0.1	95.9	%
10 月 末	12,775	6.2	27.27	5.0	96.3	%
11 月 末	12,188	1.3	26.00	0.1	95.6	%
12 月 末	12,739	5.9	27.04	4.1	94.7	%
2020年 1 月 末	12,139	0.9	25.66	△ 1.2	96.0	%
2 月 末	11,583	△ 3.7	24.36	△ 6.2	97.6	%
3 月 末	10,036	△16.6	20.92	△19.4	94.7	%
4 月 末	9,666	△19.6	20.01	△22.9	94.8	%
5 月 末	9,643	△19.8	19.87	△23.5	94.5	%
6 月 末	9,715	△19.2	19.93	△23.3	94.7	%
7 月 末	9,892	△17.8	20.28	△21.9	94.9	%
8 月 末	9,555	△20.6	19.55	△24.7	95.8	%
(期末)2020年 9 月28日	9,278	△22.9	18.94	△27.1	97.0	%

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
 (注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
 (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,028円 期末：9,278円 騰落率：△22.9%

【基準価額の主な変動要因】

ブラジル・レアルの対円での下落（円高）がマイナス要因になり、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○ブラジル債券市況

ブラジル国債の金利は、短期ゾーンで低下（債券価格は上昇）し、長期ゾーンで上昇しました。

ブラジル債券市況は、2019年10月は、年金改革法案がブラジル上院議会で可決されたことやブラジル中央銀行による利下げを背景に、金利は低下しました。11月は、油田採掘権入札の不調による財政への懸念の高まりや、チリおよびボリビアで発生した反政府デモでラテンアメリカ市場全体への警戒感が高まったことを受け、金

利は上昇しました。12月から2020年1月にかけては、ラテンアメリカ市場への警戒感や中東の政治リスクが後退し、政策金利が過去最低水準へ引き下げられたこと、またグデス経済相の低金利容認姿勢から、金利は低下しました。しかし、2月からは新型コロナウイルスの感染拡大への懸念により投資家のリスク回避姿勢が強まり、3月は信用不安の広がりで新興国債券全般が売られる展開となり、金利は大幅に上昇しました。その後、各国政策当局が大規模な財政・金融政策を発表したことで、市場の混乱は一定の落ち着きを見せ、またブラジル政府・ブラジル中央銀行も緊急経済対策の発表や利下げを実施したため、金利上昇幅は縮小しました。4月以降も、ブラジル中央銀行による追加利下げの実施や、新型コロナウイルスの対策支出を通常予算から切り離せる戦時予算法の可決、ブラジル中央銀行が国債の買い入れを含む量的緩和策の導入への期待が金利の下押し圧力となりました。一方、ブラジルの新型コロナウイルス感染者数は高水準が続き、相次ぐ景気対策により財政悪化が意識され、8月以降は金利が上昇しました。また、9月中旬の金融政策決定会合で政策金利が据え置かれたことにより利下げサイクルの終了が意識されたことや、食品価格の上昇に伴うインフレ圧力懸念も、金利の上昇圧力となりました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。

2019年10月は、年金改革法案がブラジル上院議会で可決されたことが好感され、ブラジル・レアルは上昇しました。11月は油田採掘権入札の不調による財政への懸念の高まりや、チリおよびボリビアで発生した反政府デモでラテンアメリカ市場全体への警戒感が高まったことを受けてレアルは下落したものの、12月から2020年1月にかけては、ラテンアメリカ市場への警戒感や中東の政治リスクが後退し、値を戻しました。しかし、2月からは新型コロナウイルスの感染拡大への懸念により投資家のリスク回避姿勢が強まり、3月は信用不安の広がりで新興国通貨全般が売られる展開となったため、レアルも大幅に下落しました。その後、各国政策当局が大規模な財政・金融政策を発表したことで、市場の混乱は一定の落ち着きを見せ、またブラジル政府・ブラジル中央銀行も緊急経済対策の発表や利下げを実施しましたが、ブラジルの新型コロナウイルス感染者数は高水準が続き、レアルは5月まで下落しました。5月後半から6月にかけては、新型コロナウイルスの対策支出を通常予算から切り離せる戦時予算法が可決され、ブラジル中央銀行による国債の買い入れを含む量的緩和策の導入が可能となったことが好感されてレアルは上昇したものの、その後は相次ぐ景気対策により財政悪化が意識され下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

引き続き、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）の保有を継続します。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）を保有しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

引き続き、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）の保有を継続します。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	－円
有価証券取引税	－
その他費用 (保管費用)	15 (15)
(その他)	(0)
合 計	15

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況
公 社 債

(2019年 9 月 27 日から 2020 年 9 月 28 日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジル・レアル －	千ブラジル・レアル 13,672 (－)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
公 社 債

(2019年 9 月 27 日から 2020 年 9 月 28 日まで)

当			期		
買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
			Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F(ブラジル) 10% 2021/1/1		338,831

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期 区 分	当 額 面 金 額	期				未			
		評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
ブラジル	千ブラジル・レアル 85,640	千ブラジル・レアル 87,356	千円 1,654,526	% 97.0	% －	% －	% －	% －	% 97.0

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注 4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

当			期			未		
区 分	銘	柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
ブラジル	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F		国 債 証 券	% 10.0000	千ブラジル・レアル 85,640	千ブラジル・レアル 87,356	千円 1,654,526	2021/01/01

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年9月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,654,526	96.9
コール・ローン等、その他	52,464	3.1
投資信託財産総額	1,706,991	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月28日における邦貨換算レートは、1 ブラジル・レアル＝18.94円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（1,698,450千円）の投資信託財産総額（1,706,991千円）に対する比率は、99.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年9月28日現在

項 目	当 期 末	
	当	期 末
(A) 資産	1,706,991,293円	
コール・ローン等	12,913,803	
公社債(評価額)	1,654,526,913	
未収利息	39,550,577	
(B) 負債	1,300,018	
未払解約金	1,300,000	
その他未払費用	18	
(C) 純資産総額(A－B)	1,705,691,275	
元本	1,838,522,420	
次期繰越損益金	△ 132,831,145	
(D) 受益権総口数	1,838,522,420口	
1万口当り基準価額(C／D)	9,278円	

* 期首における元本額は2,329,202,267円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は490,679,847円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ツインアクセル（ブラジル国債＆オーストラリア小型株式）<<2021-01>> 1,212,425,444円、ツインアクセル（ブラジル国債＆世界小型株式）<<2021-01>>626,096,976円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,278円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は132,831,145円です。

■損益の状況

当期 自2019年9月27日 至2020年9月28日

項 目	当 期	
	当	期
(A) 配当等収益	167,759,474円	
受取利息	167,766,605	
支払利息	△ 7,131	
(B) 有価証券売買損益	△699,022,777	
売買益	4,604,246	
売買損	△703,627,023	
(C) その他費用	△ 3,099,680	
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△534,362,983	
(E) 前期繰越損益金	472,251,991	
(F) 解約差損益金	△ 70,720,153	
(G) 合計(D＋E＋F)	△132,831,145	
次期繰越損益金(G)	△132,831,145	

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

運用報告書 第6期（決算日 2020年9月28日）

（作成対象期間 2019年9月27日～2020年9月28日）

ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

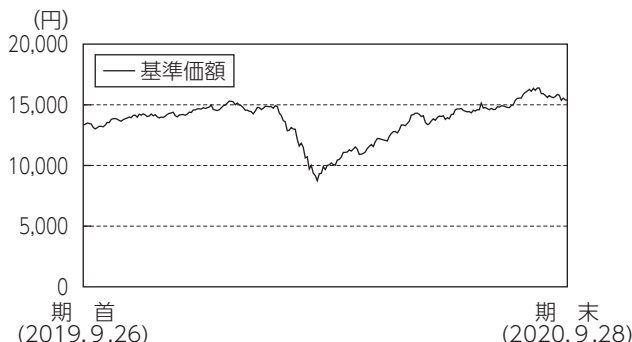
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（D R（預託証券）を含みます。）
株 式 組 入 制 限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		S&P/A S X 200指数 (円換算)		株式組入比率	投資信託証券組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首)2019年9月26日	13,347	—	9,119	—	82.7	12.7
9月末	13,498	1.1	9,151	0.3	83.6	12.7
10月末	13,994	4.8	9,414	3.2	84.4	13.0
11月末	14,294	7.1	9,514	4.3	83.4	12.9
12月末	14,980	12.2	9,759	7.0	83.1	12.7
2020年1月末	14,469	8.4	9,603	5.3	82.8	12.6
2月末	13,601	1.9	8,954	△ 1.8	85.3	12.4
3月末	10,004	△25.0	6,402	△29.8	80.1	13.5
4月末	11,567	△13.3	7,042	△22.8	82.7	12.4
5月末	13,278	△ 0.5	7,805	△14.4	82.9	12.1
6月末	13,851	3.8	8,032	△11.9	84.6	12.4
7月末	14,705	10.2	8,526	△ 6.5	84.0	12.4
8月末	16,114	20.7	8,800	△ 3.5	85.3	12.3
(期末)2020年9月28日	15,394	15.3	8,276	△ 9.2	83.9	10.2

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：13,347円 期末：15,394円 騰落率：15.3%

【基準価額の主な変動要因】

当作成期の基準価額は、保有する株式が上昇したことやオーストラリア・ドルが対円で上昇 (円安) したことがプラス要因となり、上昇しました。

◆投資環境について

○オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は下落しました。

オーストラリア株式市況は、米中通商協議の進展などから、当作成期首から2020年2月中旬にかけて緩やかに上昇しました。その後は、新型コロナウイルスの感染が中国本土以外で急拡大する中、世界経済への悪影響が懸念され、3月中旬にかけて大きく下落しました。当作成期末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大による市場の混乱を抑えるため各国の中央銀行が大規模な流動性対策の強化などを打ち出したこと、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待や都市封鎖の緩和から経済活動再開への期待が高まったことなどから、上昇基調で推移しました。

○為替相場

オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

オーストラリア・ドル対円為替相場は、当作成期首から2020年2月中旬にかけておおむねボックス圏で推移しました。その後は、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まり、3月中旬にかけて大きく下落しました。当作成期末にかけては、各国の中央銀行による支援策や経済活動再開への期待が高まったこと、鉄鉱石の価格が堅調に推移したことなどを受けて、上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

オーストラリアの小型株式等に投資を行い、信託財産の成長をめざして運用を行います。

オーストラリア小型株式市場については、R B A (オーストラリア準備銀行) の金融緩和策や政府の減税策などが引き続き支援材料になるとみています。一方で、長引く米中貿易摩擦などの地政学リスクについては注視する必要があります。

引き続き、強固なバランスシートを有し、中長期的に持続可能な収益成長が期待できる企業を重点的に組み入れていく方針です。企業のファンダメンタルズが悪化していない限り、市場の値動きの大きな局面を捉え、これまで綿密に調査してきた銘柄の新規組み入れや保有銘柄の買い増し、ファンダメンタルズのリスク・リターン特性がより優れた銘柄へのシフトなどを行っていく考えです。

外貨建資産の運用にあたっては、アパディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

◆ポートフォリオについて

当作成期中の投資行動としては、Eコマース (電子商取引) への構造的シフトから恩恵を受ける業種が期待されるオンライン関連銘柄などを新規に組み入れた一方で、業績の減速が懸念される空港関連銘柄の一部売却などを行いました。

当作成期は、呼吸器系疾患向けの医療機器の開発・製造を行うFISHER & PAYKEL HEALTHCARE (ヘルスケア)、優位な市場シェアや明確な成長戦略などを評価しているBAPCOR (一般消費財・サービス) などを高位の組み入れとしました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

オーストラリアの小型株式等に投資を行い、信託財産の成長をめざして運用を行います。

オーストラリアでは、政府による新型コロナウイルス感染拡大の封じ込め策が経済活動を大きく制約し、景気後退が懸念されます。政府による刺激策は部分的には寄与し得るものの、将来的な景気低迷を抑止するには至らないとみています。各企業はバランスシートの建て直しや支出を先送りするなどしています。こうした中、株式市場やポートフォリオの組入銘柄については長期的には楽観視しているものの、経済回復ペースをめぐる不透明感や最近の市場の上昇に鑑み、当面の市場見通しは慎重なものとしています。

引き続き、強固なバランスシートを有し、中長期的に持続可能な収益成長が期待できる企業を重点的に組み入れていく方針です。企業のファンダメンタルズが悪化していない限り、足元の市場の値動きの激しい局面を捉え、これまで綿密に調査してきた銘柄の新規組み入れや保有銘柄の買い増し、ファンダメンタルズのリスク・リターン特性がより優れた銘柄へのシフトなどを行っていく考えです。

外貨建資産の運用にあたっては、アパディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	6円 (5)
(投資信託証券)	(1)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	21 (20)
(その他)	(0)
合 計	26

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄
株 式

当					期				
買		付			売		付		
銘 柄	株 数	金 額	平均単価		銘 柄	株 数	金 額	平均単価	
SARACEN MINERAL HOLDINGS LTD (オーストラリア)	千株 149.6	千円 44,611	円 298		FISHER & PAYKEL HEALTHCARE C (ニュージーランド)	千株 39.6	千円 69,236	円 1,748	
MEGAPORT LTD (オーストラリア)	46.05	42,142	915		ARB CORP LTD (オーストラリア)	37.7	55,080	1,461	
TYRO PAYMENTS LTD (オーストラリア)	110.8	28,712	259		XERO LTD (ニュージーランド)	8	46,633	5,829	
PRO MEDICUS LTD (オーストラリア)	15,547	25,510	1,640		NEXTDC LTD (オーストラリア)	63.7	46,461	729	
IPH LTD (オーストラリア)	39.3	22,646	576		ALTium LTD (オーストラリア)	15.9	40,647	2,556	
DOMAIN HOLDINGS AUSTRALIA LT (オーストラリア)	84.9	22,568	265		INVOCARE LTD (オーストラリア)	48.2	40,541	841	
NEARMAP LTD (オーストラリア)	100.485	20,520	204		IRESS LTD (オーストラリア)	37.6	36,904	981	
TEMPLE & WEBSTER GROUP LTD (オーストラリア)	31.473	20,320	645		NETWEALTH GROUP LTD (オーストラリア)	63.3	36,711	579	
AUDINATE GROUP LTD (オーストラリア)	32.38	20,176	623		AUB GROUP LTD (オーストラリア)	42.1	36,170	859	
GOLD ROAD RESOURCES LTD (オーストラリア)	173.6	20,039	115		APPEN LTD (オーストラリア)	14.6	35,132	2,406	

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

(1) 株 式

(2019年9月27日から2020年9月28日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	オーストラリア	百株 15,654.28 (22.15)	千オーストラリア・ドル 5,819 (22)	百株 12,901.54	千オーストラリア・ドル 9,705
国	ニュージーランド	百株 237.52 (-)	千ニュージーランド・ドル 146 (-)	百株 3,090.84	千ニュージーランド・ドル 671

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2019年9月27日から2020年9月28日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	オーストラリア	千口 218.555 (1.262)	千オーストラリア・ドル 944 (6)	千口 635.54 (-)	千オーストラリア・ドル 1,802 (-)
国	ニュージーランド	千口 72.704 (-)	千ニュージーランド・ドル 163 (-)	千口 - (-)	千ニュージーランド・ドル - (-)

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注4) 金額の単位未満は切捨て。

(2019年9月27日から2020年9月28日まで)

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	期首株数	当期株数	期末評価額		業種等
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	オーストラリア・ドル	千円	
ALTUM LTD	159	—	—	—	情報技術
VISTA GROUP INTERNATIONAL LT	1,974.07	—	—	—	情報技術
CEDAR WOODS PROPERTIES LTD	881.59	876	474	35,239	不動産
XERO LTD	151	71	693	51,447	情報技術
NETWEALTH GROUP LTD	797	164	243	18,063	金融
HUB24 LTD	250	319	558	41,433	金融
APPEN LTD	244	117	383	28,482	情報技術
PRO MEDICUS LTD	74.53	230	609	45,237	ヘルスケア
LYCOPODIUM LTD	506	—	—	—	貴金属・サービス
CITADEL GROUP LTD/THE PINNACLE INVESTMENT MANAGEMEN	356	—	—	—	情報技術
SERKO LTD	827	546	264	19,613	金融
IPH LTD	665	669.1	283	21,056	情報技術
IDP EDUCATION LTD	—	393	294	21,876	貴金属・サービス
SARACEN MINERAL HOLDINGS LTD	183	214.1	416	30,922	一般消費・サービス
GOLD ROAD RESOURCES LTD	—	1,205	609	45,254	素材
COOPER ENERGY LTD	—	1,736	255	18,940	素材
DOMAIN HOLDINGS AUSTRALIA LT	—	4,072	142	10,577	エネルギー
MEGAPORT LTD	—	849	309	22,999	コミュニケーション・サービス
PUSHPAY HOLDINGS LTD	—	494	784	58,223	情報技術
AUDINATE GROUP LTD	699	797	642	47,677	情報技術
TYRO PAYMENTS LTD	—	266.03	146	10,839	情報技術
TEMPLE & WEBSTER GROUP LTD	—	1,108	375	27,877	情報技術
ZIP CO LTD	—	314.73	357	26,512	一般消費・サービス
BEACH ENERGY LTD	—	386	230	17,074	金融
FISHER & PAYKEL HEALTHCARE C	2,842	2,842	389	28,897	エネルギー
SPARK NEW ZEALAND LTD	708	312	962	71,461	ヘルスケア
IRESS LTD	1,630	1,631	706	52,415	コミュニケーション・サービス
INVOCARE LTD	376	—	—	—	情報技術
MONADELPHOUS GROUP LTD	384	—	—	—	一般消費・サービス
NIB HOLDINGS LTD	436	441	454	33,712	貴金属・サービス
AUB GROUP LTD	1,019	390	164	12,244	金融
NANOSONICS LTD	703	304	494	36,732	金融
AIR NEW ZEALAND LTD	—	396	228	16,988	ヘルスケア
ARB CORP LTD	1,320	—	—	—	貴金属・サービス
BAPCOR LTD	618	241	648	48,151	一般消費・サービス
BRICKWORKS LTD	1,557	1,202	810	60,129	一般消費・サービス
NEXTDC LTD	216	204	396	29,433	素材
NEARMAP LTD	797	248	309	22,934	情報技術
AUCKLAND INTL AIRPORT LTD	—	364.12	81	6,026	情報技術
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	株数、金額 銘柄数	14,390	1,068,031	<74.9%>
(ニュージーランド)	百株	百株	ニュージーランド・ドル	千円	
PORT OF TAURANGA LTD	1,295	935	678	46,837	貴金属・サービス
DELEGAT GROUP LTD	199.17	221	321	22,187	生活必需品
NAPIER PORT HOLDINGS LTD	411.52	580.04	205	14,168	貴金属・サービス
NZX LTD	6,725.67	4,042	654	45,181	金融
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	株数、金額 銘柄数	1,860	128,374	<9.0%>
ファンダ合計	株数、金額 銘柄数<比率>	株数、金額 銘柄数	---	1,196,406	<83.9%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	株数	当期末	評価額	
			株数	金額
(オーストラリア)	千口	千口	口数	千円
WAYPOINT REIT	311.9	243.5	669	49,699
CHARTER HALL LONG WALE REIT	—	87.155	450	33,442
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	334.9	—	—	—
BVVP TRUST	170.54	—	—	—
ALE PROPERTY GROUP	—	70.962	309	22,963
オーストラリア・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	口数、金額 銘柄数	1,429	106,105
(ニュージーランド)	千口	千口	口数	千円
GOODMAN PROPERTY TRUST	175.306	248.01	579	39,958
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	口数、金額 銘柄数	579	39,958
合 計	口数、金額 銘柄数<比率>	口数、金額 銘柄数	—	146,063

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年9月28日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 1,196,406	% 83.7
投資信託証券	146,063	10.2
コール・ローン等、その他	86,718	6.1
投資信託財産総額	1,429,188	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月28日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル＝74.22円、1ニュージーランド・ドル＝69.00円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（1,424,750千円）の投資信託財産総額（1,429,188千円）に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年9月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,429,188,454円
コール・ローン等	75,652,183
株式(評価額)	1,196,406,439
投資信託証券(評価額)	146,063,835
未収入金	6,908,222
未収配当金	4,157,775
(B) 負債	2,978,873
未払金	1,278,846
未払解約金	1,700,000
その他未払費用	27
(C) 純資産総額(A－B)	1,426,209,581
元本	926,468,814
次期繰越損益金	499,740,767
(D) 受益権総口数	926,468,814口
1万口当り基準価額(C／D)	15,394円

* 期首における元本額は1,203,799,730円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は277,330,916円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ツインアクセル（ブラジル国債＆オーストラリア小型株式）≪2021－01≫926,468,814円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,394円です。

■損益の状況

当期 自2019年9月27日 至2020年9月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	27,048,030円
受取配当金	26,934,044
受取利息	119,401
支払利息	△ 5,415
(B) 有価証券売買損益	186,334,298
売買益	363,224,490
売買損	△176,890,192
(C) その他費用	△ 2,143,806
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	211,238,522
(E) 前期繰越損益金	402,871,329
(F) 解約差損益金	△114,369,084
(G) 合計(D＋E＋F)	499,740,767
次期繰越損益金(G)	499,740,767

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。